



〇〇歴〆〆年……
火星重力圏内某宙域

高速接近反応あり。
……例の国連軍最新鋭機です！
距離三百海里、数分で射程に
捉えられますっ！

ラグランジュポイント付近の
空母から発進した模様。
左舷上空です。

捕捉されたか。
……皇太子殿下につなげ！

し、しかし今は……

命令は絶対だ！
以上！

……ちっ……

どうしますか提督？
回避しても逃げ切れません。
我が小艦隊だけでは相手に
なりませんか……

やむをえまい、
この期に及んで
まだ薬で快楽に溺れる
盆暗王子のために
貴殿ら精鋭を失うわけ
にはいかないだろう。
……

よし、総員ラン子に搭乗し
連合軍に降伏するぞ。
……せこの戦争もあと半月もあれば
連合軍の勝ちで終わる……

死ぬのは盆暗
王子だけで良い。
総員退艦！

どうせまた、親衛隊と
寝室でお楽しみだろう。
完全に薬物中毒だ……

……とりあえず
連絡だ。

は？

数分後……

おい、報告が無いが
どうなっている！

は？
確認いたします。

ブリッジ応答なし……
……
……

ミサイル接近？

なっ！
が、外部シャッターを開けろ！

は？
おあち

殿下、ブリッジからです。

私だ。

お取込み中、申し訳
ございません。
例のN機が接近しています。

い、いちいち聞くな。
迎撃しろ馬鹿者！

何度も言わせるな！

本艦以外を
囷にしても
迎撃しろ！

はっ……
ですが……

しかし、やつらには
艦砲、誘導弾も
通用しません。
軽進のご命令を。

前衛巡洋艦、敵光学兵器により、全艦蒸発。

本艦もレーダーロック
を受けています

敵艦砲塔・・・
本艦に指向しています。

敵艦砲口より高エネルギー反応。
増大中！
なおも増大しています！







極秘の生体兵器との結合試験に望む
選抜兵士。
技術者監視のもと実施される。

相性が良ければ、無事に
兵器パイロットになれる。
悪い場合は極秘裏に
される。



某巨大企業の生物兵器運搬船にて、
バイオハザード事案が発生。



非合法の兵器であったため船ごと木星への廃棄が決定。
総員退艦命令が出たものの、命令系統に不備があり
生体兵器管理担当の社員数名が逃げ遅れる。
餌食となった社員は、生体兵器に弄ばれ、捕食された。
程なく船は木星の重力圏にて消息を絶つ。模様だが
逃げ遅れた社員は、業務中の行方不明者として処理。
XXXX年XX月XX日
惑星間管理記録 五千八百六番





























敵弾複数、
回避不能圏内に接近！
迎撃不能です。

構わん、我が艦は囷として
このまま前進する！

りよ、了解つ。

い、嫌っ・・・
退艦命令は・・・？

て、提督っ。
防護シールドも機能停止しています！

帝国万歳っ！
我が艦は帝国の魁になるのだっ！

え・・・え・・・？





??? 「ん？今更聞くのか。」

アリア王女「そうよ！これから一緒に大冒険するのよ。」

??? 「ふん・・・オレの名前は・・・」



主人公の名前を入力してください



??? 「ふう。」

アリア王女「♪・・・これで、あんたもお尋ね者ね！さあ！あたしを守って聖地を目指しましょ。」

??? 「やれやれ・・・とんでもない姫様だこと。」

アリア王女「・・・あ！そういえば、あんた名前は？」



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

兵士Dを倒した。

モンスターの群れを倒した。
経験値31を入手、資金416を入手。
回復薬(s)×1、小さなカメオ×1を入手した。



あんっ!
あんっ!
あんっ!
いやあああつ!

ズギョ
ズギョ
ズギョ

ズギョ
ズギョ
ズギョ

??? : L:28
HP:2744
アリア : L:19
HP:1761

???の攻撃
???「ぶつとびな!」急所連撃!
兵士Dの急所を突いた。兵士Dは息絶えた。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

兵士Cを倒した。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

アリアの攻撃。
アリア「水の精霊よ！氷結せよ！」 冷氣結晶化！
兵士Cに3220のダメージ。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

モンスターのターン。
兵士Cは回復薬を飲んだ。
兵士Dは怯えている。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

???の攻撃
???「はっ」 通常攻撃
兵士Cに634のダメージ。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

兵士Eを倒した。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

アリアの攻撃
アリア「大地の怒りよ！」 地割れ
兵士Cには効かなかった、兵士Dには効かなかった。
兵士Eは地割れに飲み込まれた。



??? : L:28
HP:2744
アリア : L:19
HP:1761

モンスターのターン。
兵士Cは回復薬を飲んだ。
兵士D、兵士Eはまごまごしている。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

兵士Bを倒した。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

???の攻撃
???「それぞれ!」3連斬撃
兵士Bに1251、978、1114のダメージ。



??? : L:28
HP:2744
アリア : L:19
HP:1761

兵士Aを倒した。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

アリアの攻撃

アリア「薙ぎ払え！天の光よ！」 レーザービーム！

兵士Aに921のダメージ、兵士Bに850のダメージ、兵士Cに355のダメージ。



??? : L:28
HP:2744
アリア :L:19
HP:1761

モンスターの群れが現れた！
兵士A(L:19)、兵士B(L:19)、兵士C(L:17)、兵士D(L:20)、兵士E(L:18)



警備兵 「突破する気！？させません！」
～～～戦闘開始！～～～





アリア王女「(ここで見つかったら、またあの窮屈な王宮に戻されちゃう・・・。
ねえあんた、突破しちゃって!)」

??? 「・・・やれやれ・・・我儘な姫様なこと・・・。」

警備兵 「!?おいっ」





警備兵 「・・・ちょっと失礼。旅券を拝見しても？」

アリア王女 「(あっ、いけないっ・・・)」

??? 「(!)」

警備兵 「どうしましたか?・・・何か?」







量産型汎用機

独裁国家による他国侵攻の尖兵として大量に投入される。
飛行能力、歩行能力は高かったものの、防御無視の設計思想のため、侵攻初期から損耗が激しく、早々に次世代機に切り替わっていった。

【武装】
20mm機関砲×2
24式多目的誘導弾×8

【動力】
熱核パルスエンジン×2

弱点2：コックピット
気密機構のみで装甲無し。
25mm程度の成形炸薬弾頭
でも無力化可能

弱点3：ラジエーター
破壊されるとエンジンの放熱ができず、
内部の熱で数分後には操縦者を無力化可能

弱点1：エンジン
被弾し、即爆発するケースが多い。

パイロットは搭乗後、コックピットに緊縛される。
注入されるオイルと圧縮システムにより、高Gにも耐えられる。
人命軽視を具体化したようなシステムで、脱出装置は無く、AIの指示に従い最期まで戦う。





た、退避っ！
みんな逃げてっ

誰か：

援護をつっ…助けてっ！嫌あつ



宇○世紀○○○○年

「ねえねえ、今晚カレーらしいわよ。」
「えええ……またあ？ だるww」

「ビーッ：緊急で出撃命令だ！」
待機室でマッティングアプリで遊んでいたパイロット達に、突然の出撃命令が下る。

「えー。だるw」

パイロットスーツに身を包み、各機に乗り込み即座に発進する。

機上で指令を受け取るパイロット達。

「反乱軍の兵士数名が、個人用飛行ユニットで補給基地へ向かっている。
侵入されると面倒だ。全て処理しろ。」

「えー。歩兵の相手なんてしたくないわよ。」
「そうよそうよ。だるww」

「文句を言うな。自動火器管制で見てるだけだろ。」

「それもそーだけど……だる……w」

「あっ、早速補足したわよ……ゴクッ……！」
「あっ、バカ！ ミサイル使うと勿体ないわよ！ 後で叱られるのは私なのよ！」

呑気な会話をしつつ、兵士を次々撃墜する。

戦闘機と歩兵では相手にならず、緊張感のかけらも無い。

「あんたに任せたら始末書何枚になることか。最期の一匹は私がやるわ。」
「どーぞwだるw」

個人用飛行ユニットで低速で飛ぶ反乱軍兵士。

真後ろに回り込み、引き金を引く。
四千発／分以上の発射速度で放たれた二十五ミリ弾が数十発と直撃し、
敵兵は空中で霧散する。

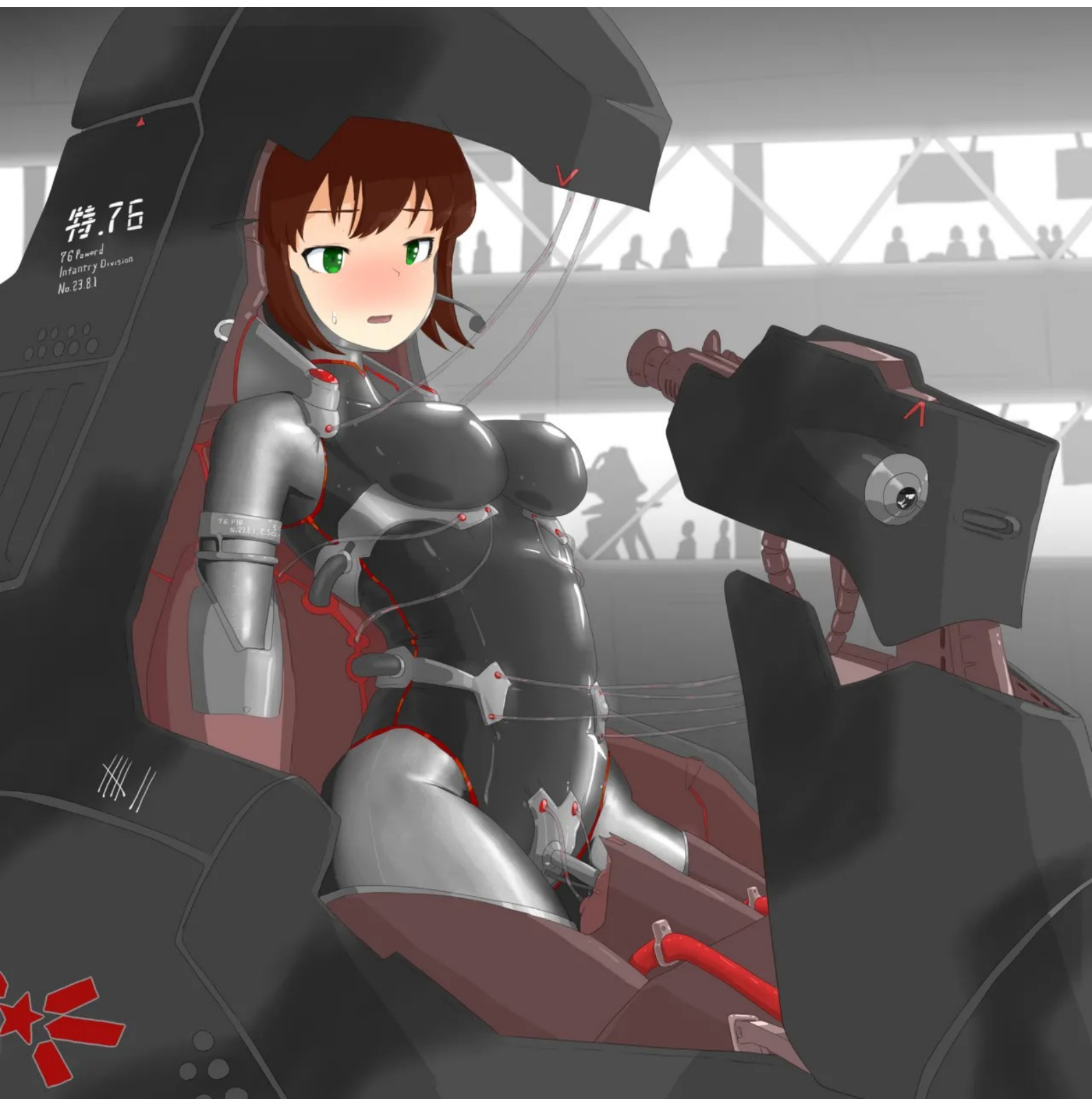
「えー。それだって十分高いジャン！ だるw」

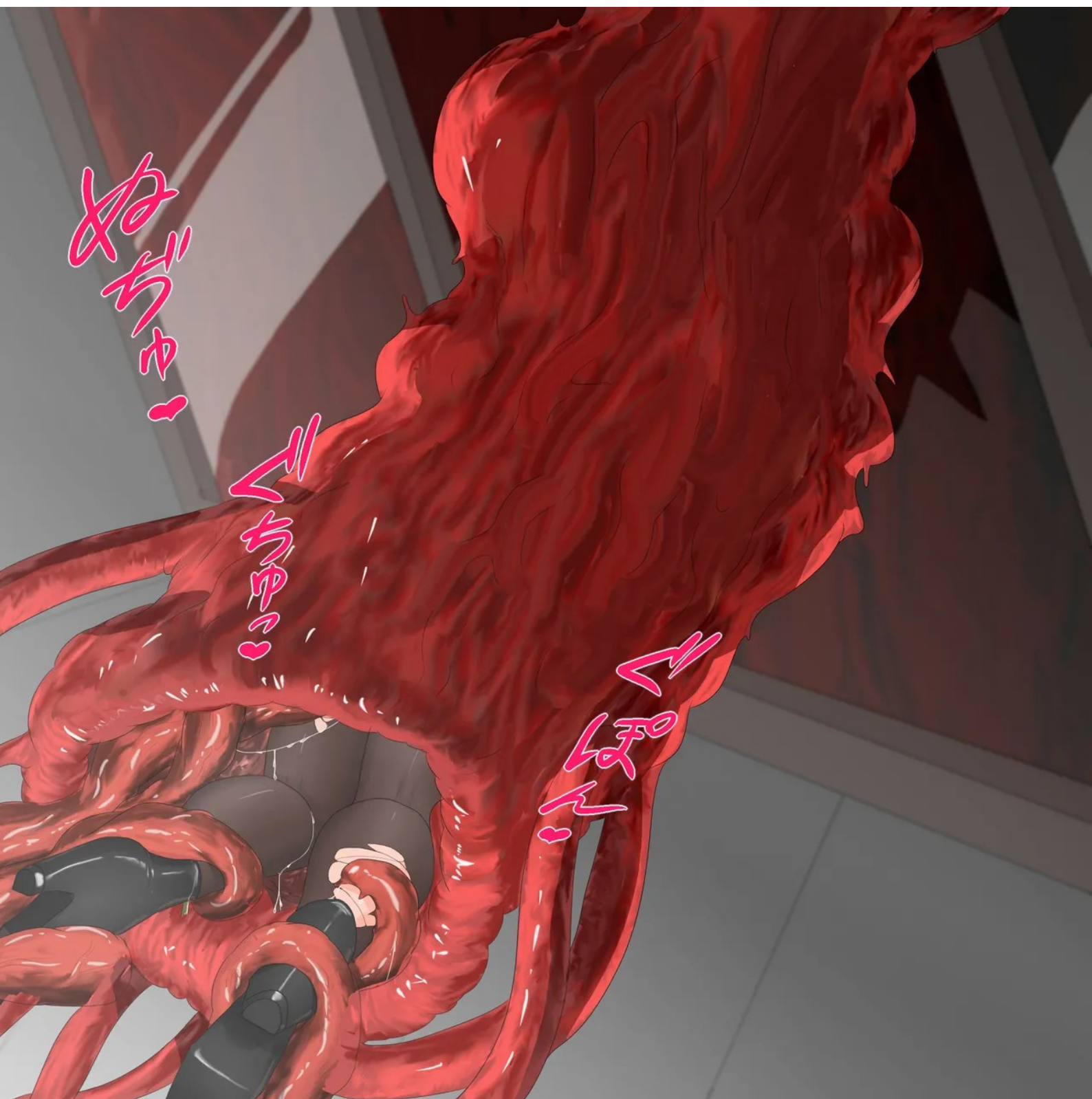
「ミサイルよりは安いわよ。さ、帰っていっぱいイイね送るんだから！」
「あっそww」

自動航行モードに入り、パイロットらは雑談しつつ帰還していった。















い
ゃ
っ
...

あ
っ
...

ぬ
ち
ゅ

ぬ

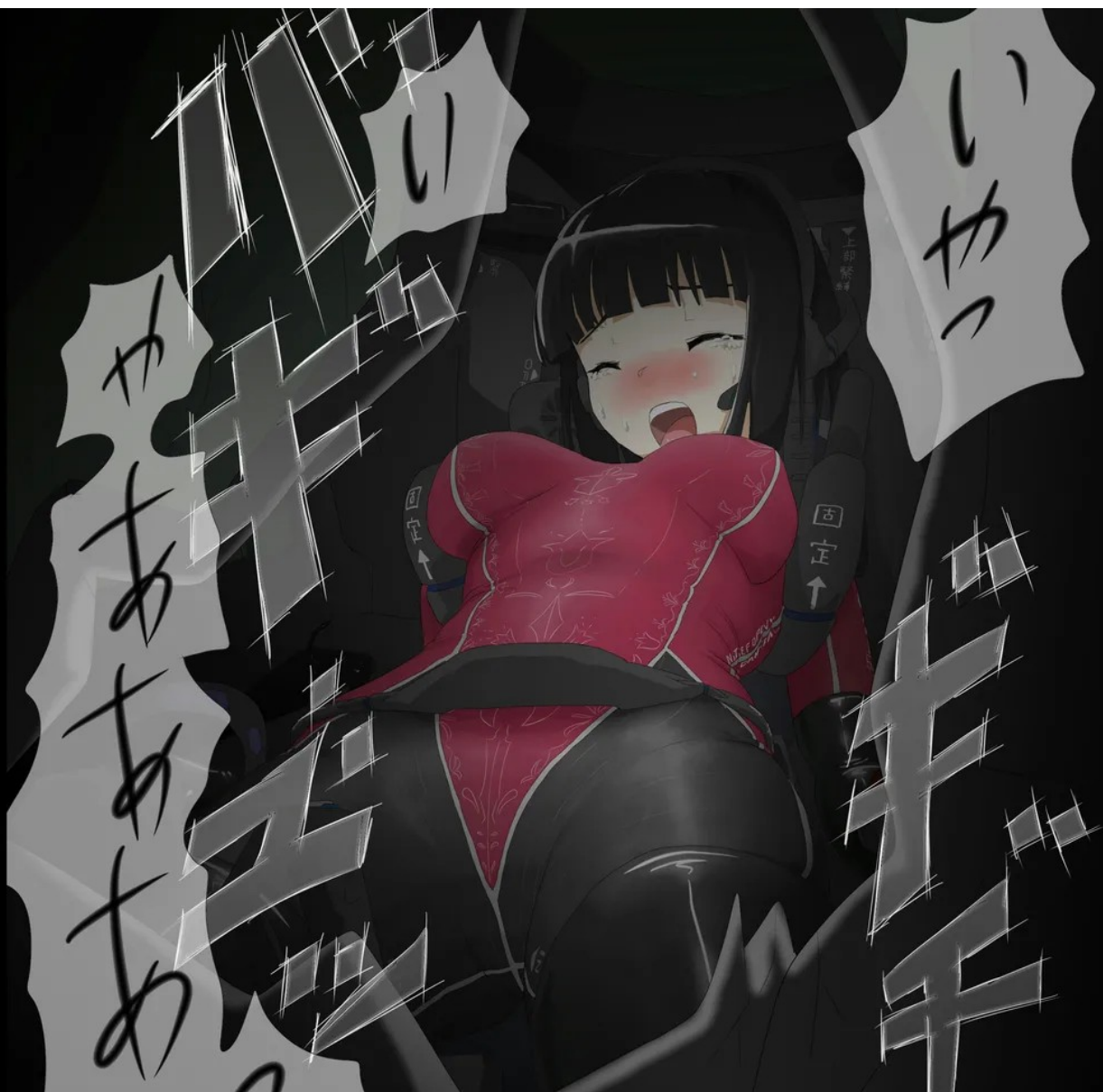
ちゅ

ちゅ

ぬ
ち
ゅ



折りたたまれるように潰されてゆくモブパイロット。
断末魔を響かる。



誰にも顧みられることもなく、最後は圧縮されてしまう。
モブパイロットの最期であった…

圧縮が始まり、機体はひしゃげてゆく音がコックピットに響く。
狭いコックピットのなか、死の恐怖に怯えるモブパイロット。

い、嫌あああああつ!!

嫌っ：嫌っつ
こんなところで死にたくないっ

潰れて死ぬなんて嫌っ!
誰かつ！誰か助けて下さいっ..
お、お願いっ！ た、助けてっ

どうすることもできず、ただひたすら叫び、助けを祈る。
しかし仲間も全滅しており、助けなど来ない。



友軍の攻撃に被弾する。被弾し、機能停止する機体。
無音になる機内。



やがて圧縮が始まり、自らごと機体が数センチの鉄塊になることを
知っているモブパイロットは、恐怖に慄く。

戦闘の混乱の中、味方の攻撃を浴びそうになる。
必死に止めようとするが、一切無視される。



えっ!...?

じゅ、重力ビーム警報...!!?

あんななんて、
これで潰してやるっ!

ふん♪
そんなの私には当たないわ!

皇女様っ!
重力ビームはおやめくださいっ

わ、我々の機体は耐えられませんっ!

死ねっ!

ドンッ

無駄よっ!

仲間も次々に撃墜され、どうすることもできないモブパイロット。
絶望的な状況のなか、泣き出してしまう。

作戦開始前、機体に乗り込むモブパイロット。
初の実戦が見込まれるため面倒見の良い先輩（七番機）に心配される。

基本は私たちが戦うから、
新入りの貴女は出番無いけど、皇女様直掩は任せるわ。

例の敵が現れるかもしれないし
貴女も気を付けてね。

了解です。

き、緊張する…。

タイトなパイロットスーツに身を包み、
耐の装備でコックピットにきつく固定される。



キャラクター紹介

XSF-1 ヒロインの搭乗する連合軍最強の宇宙戦闘機

搭乗者の卓越した技量と高出力エンジン、高精度のビーム砲を搭載。
ヒロインの超能力により機体のAIと連携した異次元の性能を持つ、連合軍の切り札。
皇国の標準宇宙戦闘機程度では相手にならない。
最終話でエルフェと相打ちになり大破するが、その後、XSF-2として生まれ変わる。
ヒロインは戦いののちに、敵皇女と和解し、平和への道を開くことになった。



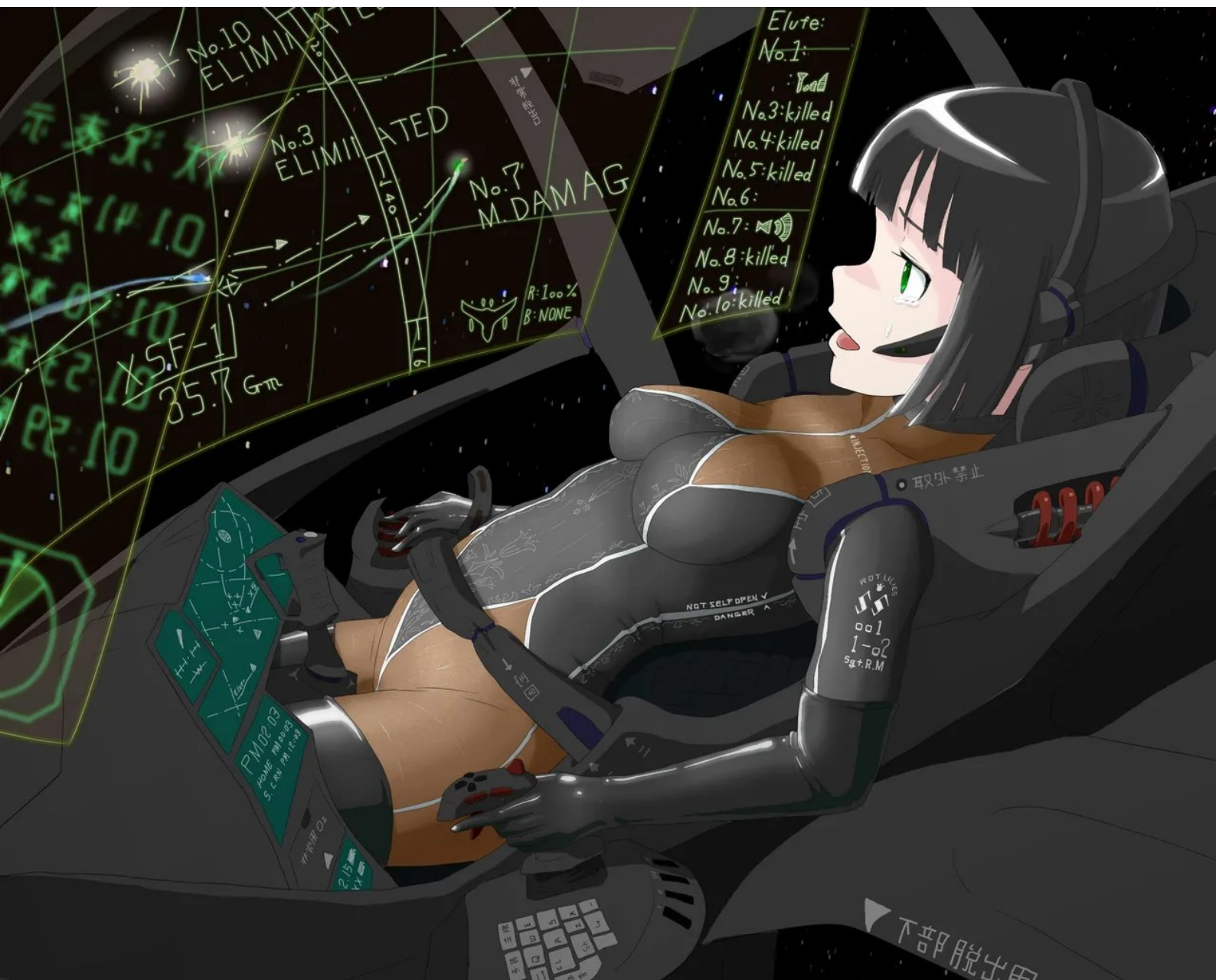
エルフェ 敵皇国の皇女専用宇宙戦闘機

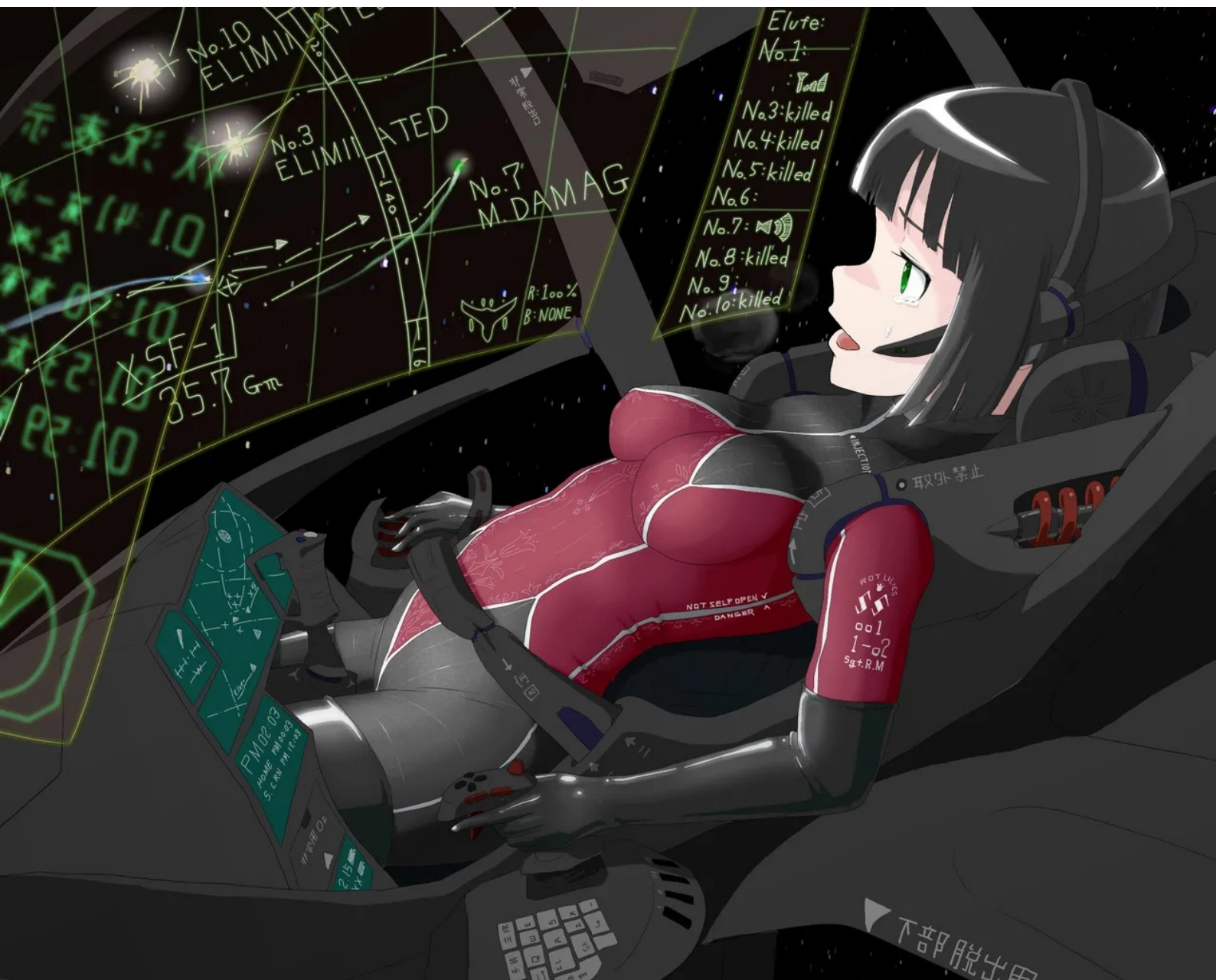
皇女の超能力と連携し、XSF-1と同程度の性能を持つ。
暴走モードに入ると、機体後部より重力ビームを付近に飛行する全ての機体に放出可能。
重力ビームは命中すると機体は圧縮され、わずか数センチメートルの塊になる。
最終話では通常戦闘でヒロインに圧倒され、暴走モードで付近の親衛隊機もろともXSF-1を狙い、重力ビームを僅かに命中させるが、結局相打ちとなる。
戦いののち、ヒロインと対話し、皇女は改心し平和を愛するようになる。
のちに、皇女はヒロインと共に圧政を敷く故国を解放する戦いに加わる。

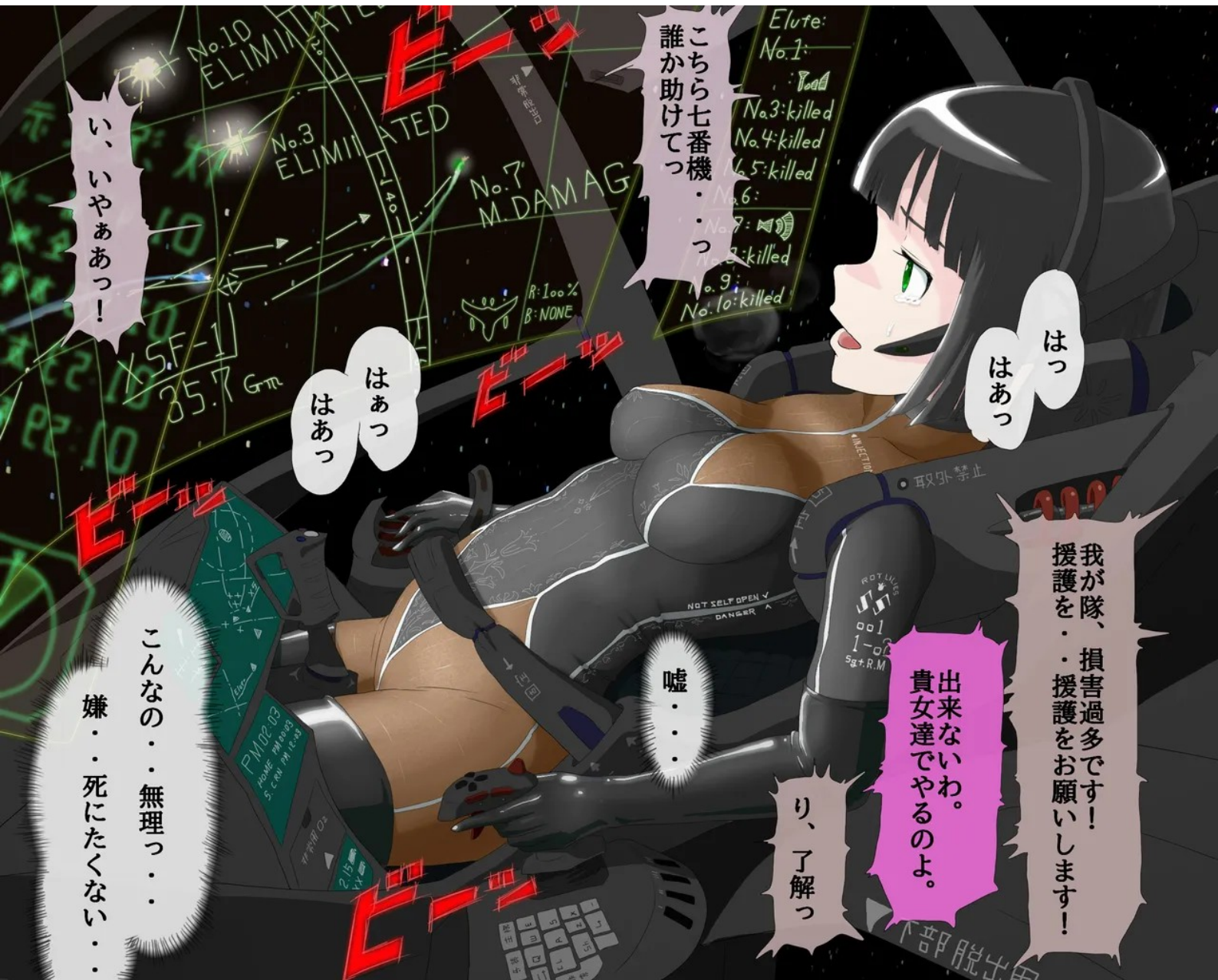


標準宇宙戦闘機（親衛隊専用機） 敵皇女の親衛隊専用機

親衛隊用に若干の改修が加えられた皇国宇宙戦闘機。
親衛隊は、皇女の日常の身の回りの世話も行う任務を持つ。全員が皇女と年齢の近い女性。
最終話でヒロインに次々に撃墜され、宇宙に散る。
数名はギリギリまで皇女を守るため守備戦闘を続けていたが、皇女が至近距離で発動した重力ビームの乱射を避けられず、ほぼ能力見せの形で全滅した。
なお、皇女は世話を焼かれることを良しとしていないため、彼女らが顧みられることは最期まで無かった。
親衛隊は赤百合部隊と呼ばれ、パイロットスーツは一般兵仕様と異なり特別なデザインが施されている。







い、いやあつ!

はあつ

はあつ

こちら七番機
誰か助けてっ

嘘...

嫌...死にたくない...

こんなの...無理っ...

り、了解っ

出来ないわ。
貴女達でやるのよ。

我が隊、損害過多です!
援護を...援護をお願いします!

はあつ

はっ

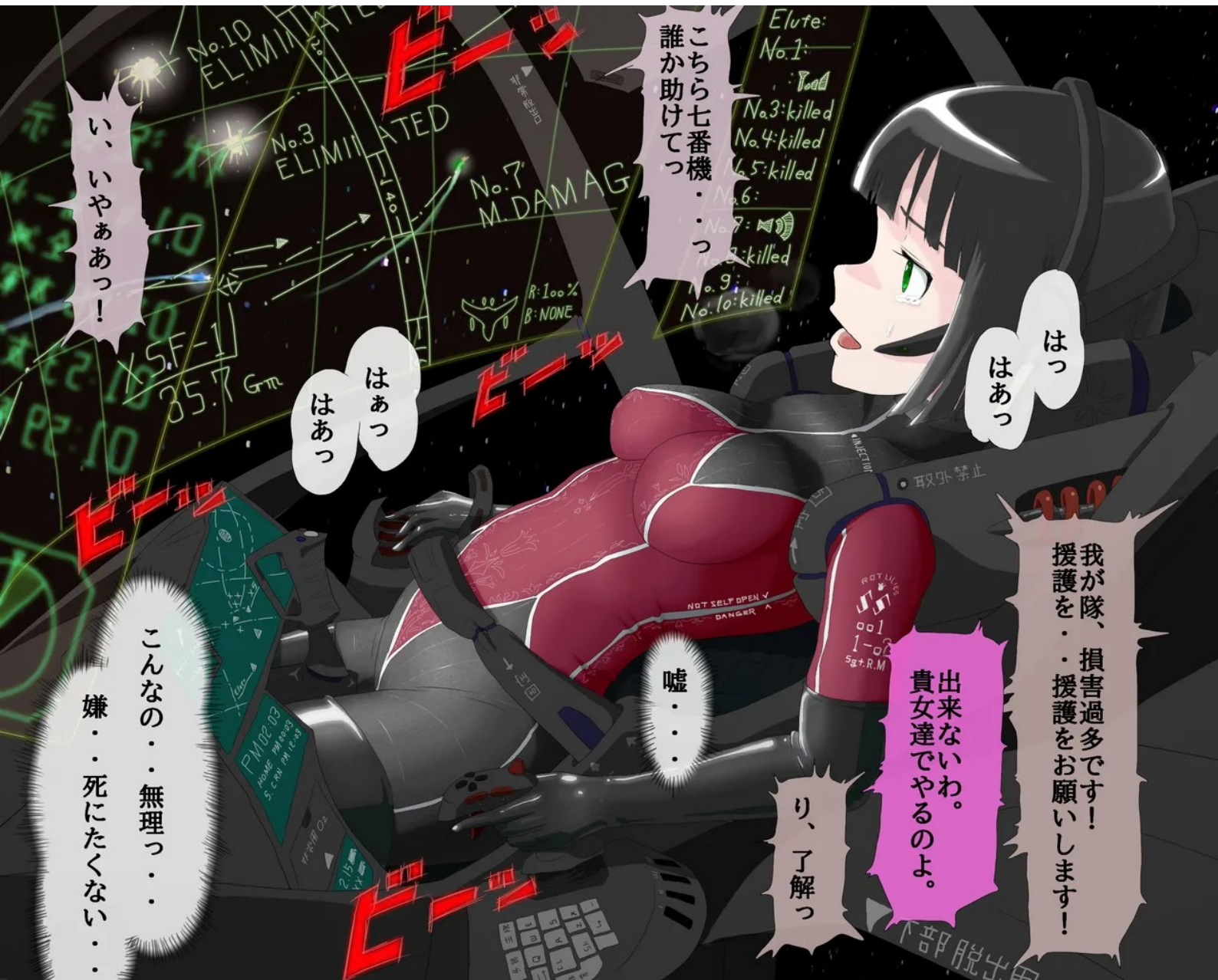
No.10 ELIMINATED
No.3 ELIMINATED
No.7 M.DAMAG
R:100%
B:NONE

Elite:
No.1:
No.3:killed
No.4:killed
No.5:killed
No.6:
No.7:
No.8:killed
No.9:
No.10:killed

PM02-03
HOME PM 0003
S.C.M. PM 0003
2/15
47

取扱禁止

下部脱出



い、いやあつ！

はあつ

はあつ

こちら七番機
誰か助けてっ

Elite:
No.1: Toad
No.3:killed
No.4:killed
No.5:killed
No.6:
No.7: killed
No.8:killed
No.9:
No.10:killed

はっ
はあつ

我が隊、損害過多です！
援護を・援護をお願いします！

出来ないわ。
貴女達でやるのよ。

り、了解っ

嘘・・・

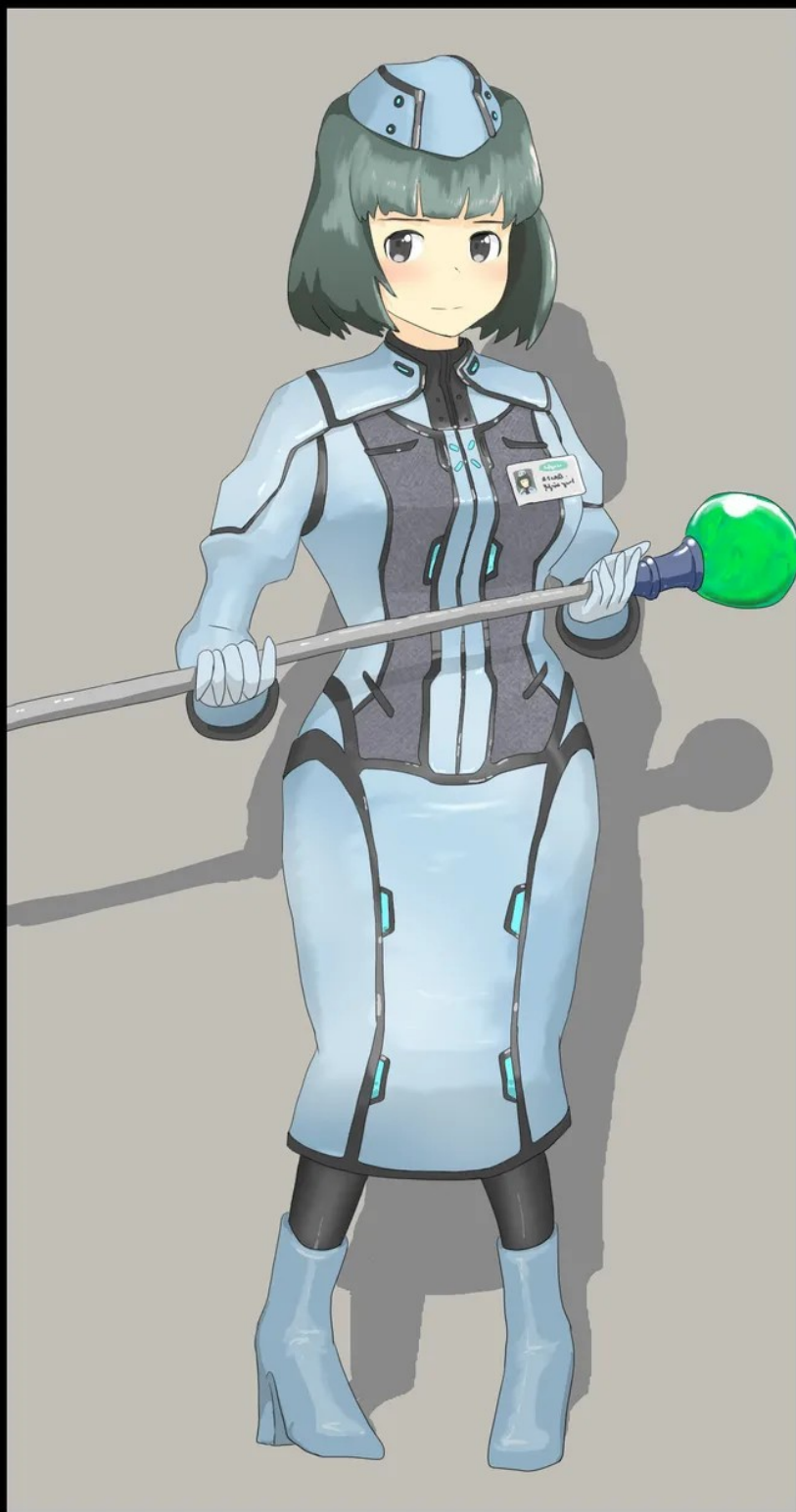
こんなの・・・無理っ・・・

嫌・・・死にたくない・・・









モブ女兵紹介 No.2

クロノス・スカラー
スターオーシャン5

クロノス中央紋章研究所。

装備：研究スーツ？
ストッキング・白手袋
武器：ロッド×1

スカラー=物理学の用語であり、
ただの研究員の模様。
研究所に踏み込んできた主人公ら
に対して防衛戦をする羽目になる。

数波に別れて襲撃するも、
戦力差は歴然で全滅する。

ちなみに責任者のラフィネは、彼女
達が全滅するのを見ると、降伏して
ちゃっかり主人公側につく。

断末魔がかわいい。
兵士でもないのに戦わされて
次々に斬り捨てられる。
とても勿体ない。

ダメージボイス
「きゃあ！」

断末魔
「きゃあああああ！！」



モブ女兵紹介 No.1

スカーミッシャー(女性上級兵士)
テイルズオブグレイセスS

フェンデル帝国兵士。

装備:頭部マスク(戦闘時のみ)
タイトスカート・タイツ・ブーツ
コート・白手袋
武器:短剣×2

国民の多くが軍に関する仕事に就く
フェンデル帝国においては、女性の
兵士は珍しくない。
就職?先に軍を選んだばかりに
悲惨な目にあってしまう。

政府機関を警備中に、侵入者に
次々殺されてしまう。
軍服違いでフットソルジャーも存在。

斬りつけられると仰け反りつつ喘ぐ。
果てると断末魔と共に吹き飛ぶ。

可愛い声なのに勿体ない。

ダメージボイス
「あんっ!」
「うっ!」

断末魔
「いやあああああああっ!!」



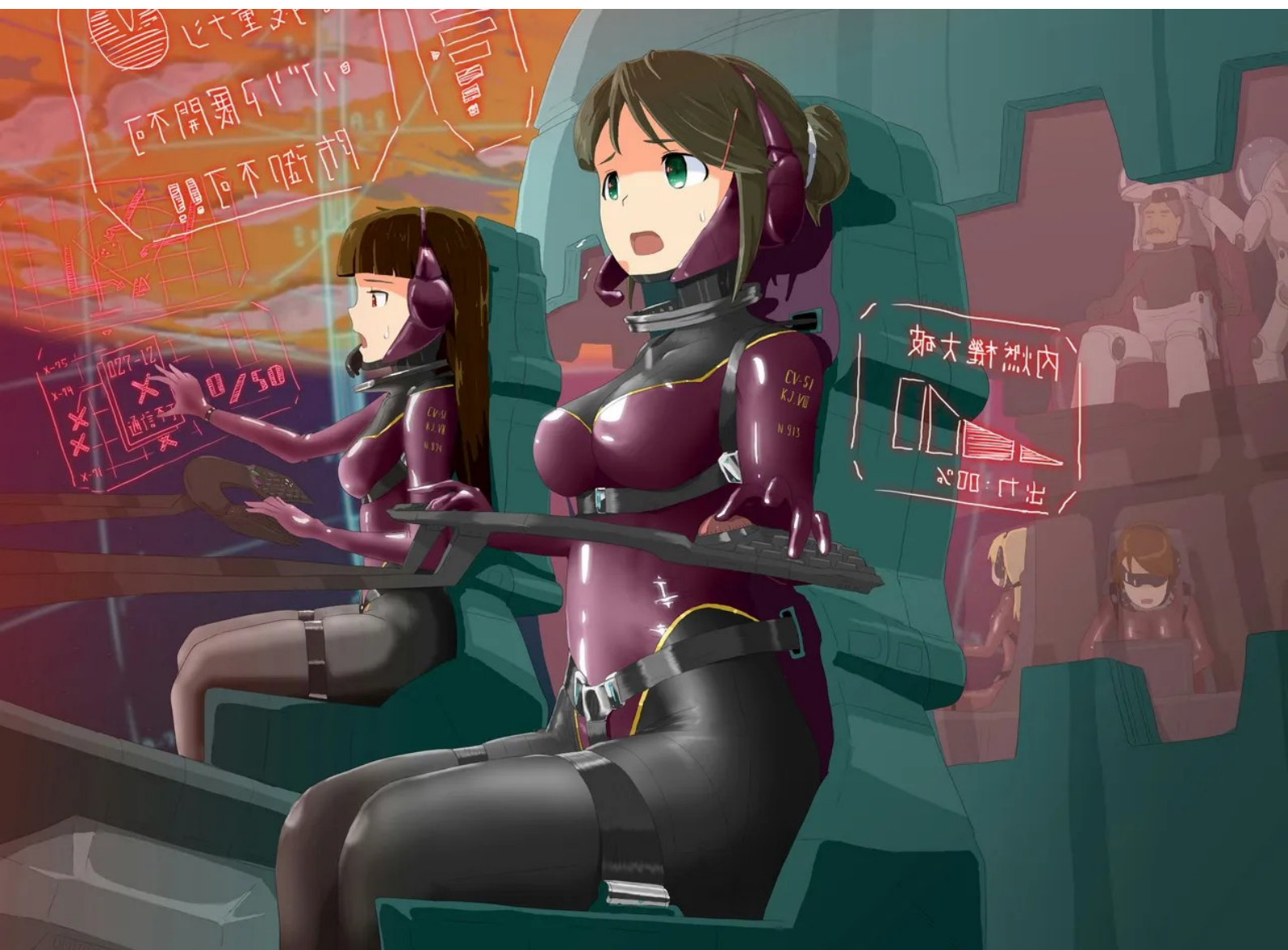


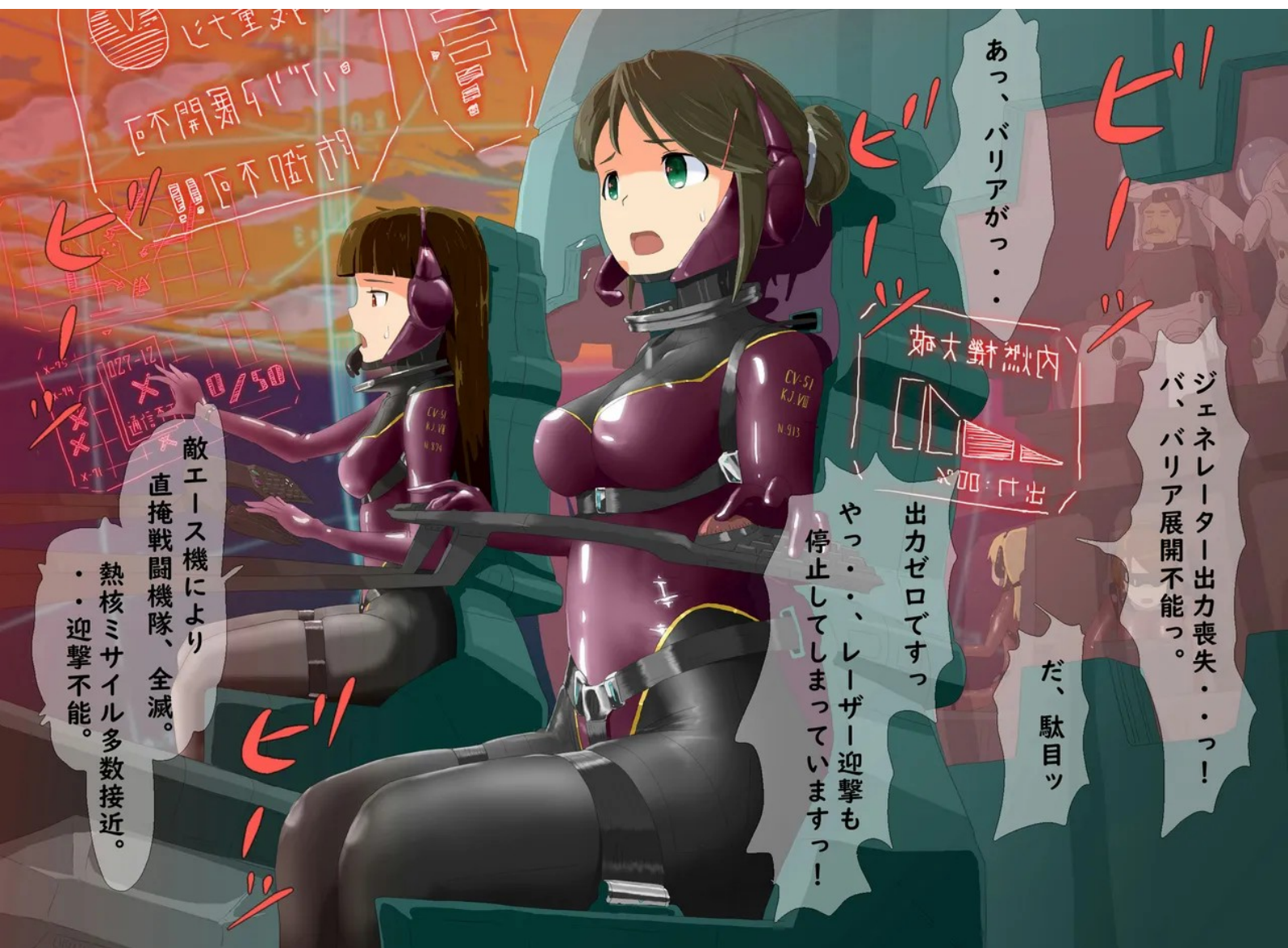












あつ、バリアがっ...

敵大對熱内

出力ゼロですっ

やっ...、レーザー迎撃も
停止してしまっていますっ！

だ、駄目ッ

ジェネレーター出力喪失...っ！
バ、バリア展開不能っ。

敵エース機により

直掩戦闘機隊、全滅。

熱核ミサイル多数接近。
・迎撃不能。









